

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	36° 00' 38"	
				経度	139° 29' 24"	
谷中橋 (フリガナ)ヤナカバシ	町道1-15号線	埼玉県川島町大字東部334番1地先				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
埼玉県川島町役場 まち整備課	2016.1.13	河川・開水路・湖沼	無	一般道	その他	無

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者				基礎地盤コンサルタンツ(株)		点検責任者		高本 博昭		
点検時に記録				措置後に記録						
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)		措置後の 判定区分		変状の種類		措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	II	腐食	写真1、主桁03						
	横桁	II	腐食	写真2、横桁01						
	床版	II	腐食	写真3、床版01						
下部構造		II	剥離	写真4、下部構造02						
支承部		II	支承の機能障害	写真5、支承0502						
その他		II	防食機能の劣化	写真6、高欄02						

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録				措置後に記録			
(判定区分)	(所見等) 主桁、横桁、床版に腐食が見られる。原因は経年劣化と推定。予防保全の観点から塗装塗替え等の措置を講じる状態である。			(再判定区分)		(再判定実施年月日)	
II							

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>起点</span> <span>終点</span> </div> 
1984年	41m	4.30m	

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載の

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

<p style="text-align: center;">上部構造(主桁)【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真1</p>  <p style="text-align: center;">主桁03 上部構造(床版)【判定区分: Ⅱ】</p>	<p style="text-align: center;">上部構造(横桁)【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真2</p>  <p style="text-align: center;">横桁01 下部構造【判定区分: Ⅱ】</p>
<p>写真3</p>  <p style="text-align: center;">床板01</p>	<p>写真4</p>  <p style="text-align: center;">下部構造02</p>

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載の

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

<p>支承部【判定区分: Ⅱ】</p>	<p>その他【判定区分: Ⅱ】</p>
<p>写真5</p>  <p>支承0502 【判定区分: 】</p>	<p>写真6</p>  <p>高欄02 【判定区分: 】</p>
	